

事業説明 (研究所セミナーの開催 ほか)

2026/02/06 FRI

理事 清重隆信

研究所セミナー



日時 令和8年
2月28日 土
 9:30~16:15
 ※会場受付 9時開始
 配信接続 9時30分開始

定員
 会場
 500名 (※先着申込順)
 YouTubeライブ配信
 (第1部のみ・定員なし)
 ※裏面参照

参加費 **無料**

申込期間
 1/7 (水) ~ 2/13 (金)

お申込みは研究所HP
 またはQRコードから
 ※情報保障あり



会場
 国立オリンピック記念
 青少年総合センター

東京都渋谷区代々木神園町3-1

[アクセス] 車
 小田急線 参宮橋駅 徒歩7分
 地下鉄千代田線 代々木公園駅 徒歩10分

主催：独立行政法人国立特別支援教育総合研究所
 協力：株式会社伊藤園 公益財団法人みずほ教育福祉財団 (五十音順)

参加について

申込方法 オンラインによる申込み

本研究所セミナーのホームページまたはQRコードよりお申込みください。(裏面記載)
 ※手話通訳、字幕、車椅子等の配慮を必要とする場合は、その旨ご記入ください。
 ※オンラインによる申込みが困難な方は、FAXによる申込みを受け付けます。
 ※会場は定員に達し次第、申込期限内であっても申込みを締め切らせていただきます。
 ※YouTubeライブ配信に定員はありませんが、申込みが必要です。

個人情報の取扱いについて

本申込みでお預かりする個人情報は、独立行政法人国立特別支援教育総合研究所及び、運営を委託する業者が管理し、本セミナーでの利用以外では使用いたしません。

注意事項

△本セミナーの撮影・録音・スクリーンショット等はご遠慮ください。
 △本研究所職員が会場及びオンラインにて撮影した写真及び映像は、広報資料に使用し公表する場合がございますので、あらかじめご了承ください。
 △宿泊、当日の昼食は各自でご用意ください。大ホール及び小ホール内での飲食は不可ですが、カルチャー楼ホワイエ及び楼内では飲食が可能です。

タイムスケジュール

9:00 受付
第1部
 9:30 辻村賞授賞式
 9:45 開会式
 10:00 文部科学省行政説明
 10:30 休憩
 10:40 特撮研の研究について
 11:00 重点課題研究等成果報告
 3研究課題
 12:00 昼食休憩
 12:50 重点課題研究等成果報告
 2研究課題
第2部
 13:30 障害種別研究推進
 ポスター発表
 14:10 休憩
 14:30 重点課題研究等分科会
 16:00 各会場にて閉会

開催にあたり

国立特別支援教育総合研究所 (NISE) では、研究成果等の普及や特別支援教育の理解啓発等を図り、インクルーシブ教育システムの構築の推進を目的として、毎年、本セミナーを開催しています。

今年度は本研究所の第5期中期計画の最終年度にあたります。文部科学省による行政説明のほか、研究所として特別支援教育に関する国の施策推進や学校現場の課題の課題解決に寄与するために取り組んできた障害種別の枠を超えた重点課題研究、障害種別研究等の成果を報告させていただきます。特別支援教育に関する現状や課題を皆様と共有し、今後の更なる取組に向けて共に考える機会になればと考えております。

本セミナーが、各地域・学校における取組を一層推進するための一助となることを期待しています。

理事長 中村健一

問い合わせ先

独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 総務部 総務企画課 研究推進係
 〒239-8585 神奈川県横浜須賀野5-1-1
 TEL 046-839-6928 FAX 046-839-6919 e-mail: v-seminarwg2025@nise.go.jp

第Ⅰ部	9:30～9:45	辻村賞授賞式 受賞者 市川 宏伸 氏
	9:45～10:00	開会式
	10:00～10:30	文部科学省行政説明
	10:40～11:00	特総研の研究について
	11:00～12:00	重点課題研究等成果報告（3課題）
	12:50～13:30	重点課題研究等成果報告（2課題）
第Ⅱ部	13:30～14:10	障害種別研究班等ポスター発表（会場のみ）
	14:30～16:00	重点課題研究等分科会（会場のみ）
	16:00～	各分科会で閉会

研究所セミナー 発表予定の研究課題 説明動画をYouTube配信中

	研究課題名	分科会タイトル	説明動画
分科会 1	特別支援教育に係る教育課程の基準等に関する研究（令和5年度～7年度）	「質の高い特別支援教育の在り方」に向けて	
分科会 2	多様な教育的ニーズのある子供の学びの場の充実に関する研究－通常の学級に在籍する子供への指導・支援に焦点を当てて－（令和5年度～7年度）	通常の学級に在籍する多様な教育的ニーズのある子供の学びの充実に向けて	
分科会 3	共生社会の担い手を育む教育に関する研究－障害理解教育の検討を中心に－（令和5年度～7年度）	共生社会の担い手を育む教育の推進－すべての学校での実践を目指して－	
分科会 4	障害のある児童生徒のキャリア教育の充実に関する研究（令和6年度～7年度）	障害のある児童生徒のキャリア教育の充実に関する研究	
分科会 5	肢体不自由教育におけるICTの活用に関する研究（令和5年度～7年度）	肢体不自由教育におけるICTの活用	

分科会 1 : 「質の高い特別支援教育の在り方」に向けて 特別支援教育に係る教育課程の基準等に関する研究 (令和5年度～7年度)



研究の目的と主な検討の柱

過去の学習指導要領等の審議過程で検討された論点や現行の学習指導要領等に基づいて編成される「教育課程」の編成・実施・評価・改善などの状況から、**次期学習指導要領等の改訂に向けた検討に必要な知見を提供**する。

検討の柱①

学習指導要領に基づく教育課程の編成等の実施状況の把握

検討の柱②

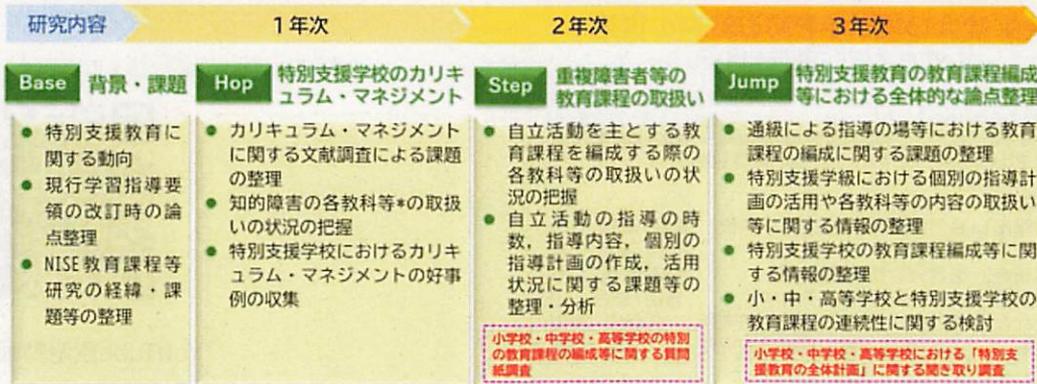
特別支援教育に係る施策や検討会議等における指摘など、特別支援教育の充実・進展に向けた課題の総合的な分析

→ 次期学習指導要領等の改訂の検討に資する論点を整理する



YouTube説明動画はこちら

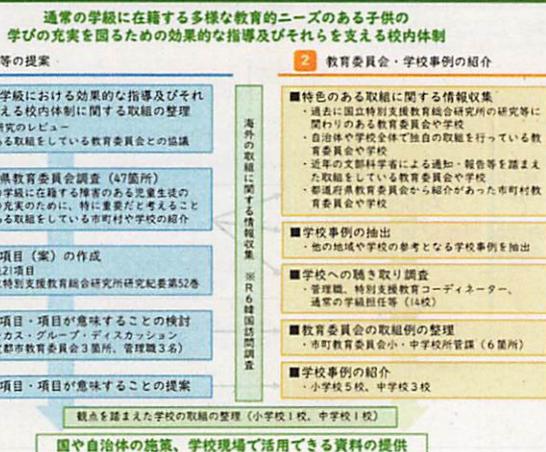
3カ年にわたる研究の経過



分科会 2 : 通常の学級に在籍する多様な教育的ニーズのある子供の学びの充実に向けて 多様な教育的ニーズのある子供の学びの場の充実に関する研究 - 通常の学級に在籍する子供への指導・支援に焦点を当てて - (令和5年度～7年度)



研究の流れ



観点等の提案

観点	項目	意味すること
I. 校内の体制に関する観点	1. 校内支援体制の充実	全教職員で組織的に対応する校内支援体制の確立(推進)や校内委員会の機能強化を図ること
	2. 管理職のリーダーシップ及び特別支援教育への理解	管理職が特別支援教育実施の責任者としての役割を果たすこと
	3. 通級による指導の整備・充実	通級指導教室の適切な設置や対象となる児童生徒が通級による指導を受けやすくなること
	4. 専門機関との連携	外部の専門機関や特別支援学校のセンター的機能、専門家(PT, OT, ST)を活用すること
	5. 教師、特別支援教育支援員等の人員配置	通常の学級に関わる教員及び支援員等の人的配置をすること
	6. 保護者との連携・協働	保護者からの相談対応や保護者を子供の支援者として協働すること
	7. 通常の学級と通級による指導の連携	通級による指導を受けている子供が、在籍している通常の学級でその学びを生かせるようにすること
	8. 入学時や通級、退学時の引き継ぎ	入学や通級、退学時の引き継ぎを行うための体制整備をすること
	9. 学びの場の変更に伴う検討過程の充実	学びの場の変更に伴う検討を行うこと(通常の学級でできる支援方法を検討する)
	10. 学校間での教員の柔軟な配置変更、人事交流	学校間での教員の配置変更や人事交流を行うこと
II. 教師の専門性に関する観点	11. 全ての教師の特別支援教育への理解	全ての教師が特別支援教育について理解すること
	12. 通常の学級担任の専門性の向上	通常の学級を担当する教師等の専門性の向上を図ること
	13. 研修の充実	通常の学級に関わる教師等の研修の充実を図ること
III. 個に応じた指導・支援に関する観点	14. 児童生徒の教育的ニーズの把握、指導・支援	児童生徒の教育的ニーズを把握し、個に応じた指導・支援を行うこと
	15. 個別の指導計画の作成、活用	個別の指導計画の作成・活用に関すること
	16. 個別の教育支援計画の作成、活用	個別の教育支援計画の作成・活用に関すること
	17. 合理的配慮の提供	合理的配慮の提供までのプロセスに関すること
	18. 多角的な実施把握	校内の外的資源を活用するなど、多角的な見地から実施を把握すること
	19. 教室環境の整備	学習に適した教室環境を整備すること
	20. 分かりやすい授業	子供が理解しやすい授業を行うこと
	21. 児童生徒がお互いを認め合える学級経営	互いに認め合い、支え合う学級経営を行うこと
IV. 学級経営、授業に関する観点	22. 障害に関する周囲の理解	通常の学級に在籍する多様な教育的ニーズのある子供の理解

※令和7年12月18日現在の暫定版の資料です。研究所セミナーに参加された方には、最終報告書に掲載した資料を提供します。

テーマ: 通常の学級に在籍する多様な教育的ニーズのある子供の学びの充実を目指して

内容: 研究チームが提案する観点等を参考に、学校の取組を振り返り、通常の学級でできる支援方法を検討する

登壇者:

全体進行 佐藤 利正 (国立特別支援教育総合研究所)

【パネルディスカッション】

進行 井上 秀和 (国立特別支援教育総合研究所)
 話題提供 滑川 典宏 (国立特別支援教育総合研究所)
 香澤 整治 (国立特別支援教育総合研究所)
 指定討論 喜多 好一 (東京都江東区立豊洲北小学校)
 近藤 春樹 (川崎市教育委員会特別支援教育課)

【講評】 村上 学 (文部科学省特別支援教育課)



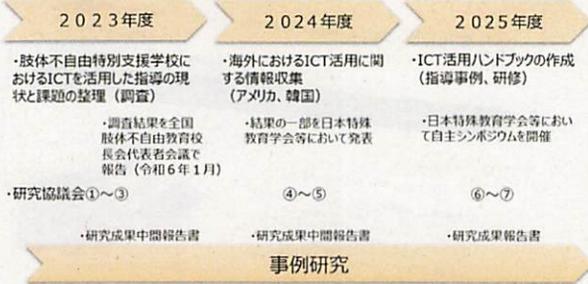
YouTube説明動画はこちら

分科会 5 : 肢体不自由教育におけるICTの活用

肢体不自由教育におけるICTの活用に関する研究 (令和5年度~7年度)



研究の概要と期待される研究成果



ICT活用の現状や課題の把握・整理
ICTの効果的な活用事例の収集
ICT活用ハンドブックの作成

事例研究概要資料

研究所セミナー「分科会」の概要

テーマ：肢体不自由教育におけるICTの活用

【概要】
本分科会では、実施した調査結果や事例研究の内容、研究成果物としてのICT活用ハンドブック等を含め、研究全体の概要について報告する。その上で、研究協力機関で取り組んだ高専との連携によるICTを活用した授業を取り上げ、開発したスイッチインターフェイスの紹介も含めて話題提供をする。そして、肢体不自由教育におけるデジタル学習基盤としてのICT活用のポイントや、研究成果の普及に向けた工夫等について、参加者と意見交換を行う。

- 司会 杉林 寛仁 (国立特別支援教育総合研究所 主任研究員)
- 研究報告 吉川 知夫 (国立特別支援教育総合研究所 上席総括研究員)
- 話題提供 清田 公保 (熊本高等専門学校 教授)



YouTube説明動画はこちら

研究所セミナー・参加申し込み先



申込期間 2026/1/13(金)23:59まで

会場・YouTubeライブ配信 どちらの参加でも事前申込が必要です。

申込はこちら
(会場)

申込はこちら
(YouTubeライブ配信：第I部のみ)



- 文部科学省の「インクルーシブ教育システム構築モデル事業」等で得られた「合理的配慮」の実践事例をデータベース化
- 令和6年度、118,917件事例ダウンロード
- オンラインセミナーの実施



独立行政法人
国立特別支援教育総合研究所
NISE
National Institute of Special Education Research

令和7年12月17日(水)

**令和7年度
インクルDBセミナー**

独立行政法人
国立特別支援教育総合研究所
インクルーシブ教育システム推進センター
情報発信担当



研究所の動画サイト
(NISEチャンネル)
でご覧いただけます。
QRコードはこちら →



言語班セミナーの開催

国立特別支援教育総合研究所

令和7年度 言語班セミナー

日時：令和8年3月7日(土) 14:00~16:30

方法：対面（国立特別支援教育総合研究所 大研修室）
オンライン配信 ※当日配信のみ

定員：対面80名(先着順)/ オンライン(制限なし)

講演「なぜ新発達論か」
鯨岡峻氏

本セミナーでは、鯨岡峻先生をお招きし、生後発達論を「育てられる者」から「育てる者」へと連続的にとらえる新発達論（関係発達論）の視座から、ことばの教室における〈子ども-教師-保護者〉の相互関係を捉え直します。あわせて、その視座を日々の支援に生かすための具体的な関わり方や連携の工夫へと結びつけることを目的とします。皆様のご参加をお待ちしております。

〈申込方法〉

ここをクリックすると申し込みページに移動します▶



お問い合わせ

独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 言語障害教育研究班

✉ v-gengo-seminar@nise.go.jp

- 令和6年度（令和7年3月）に、フランス国立インクルーシブ教育高等研究所との連携協定を再締結し、韓国国立特殊教育院との交流も含め、インクルーシブ教育システムの最新情報や障害者権利条約の審査への対応方法等を情報交換する基盤作りができた。



2025年3月18日にフランス国立インクルーシブ教育高等研究所（INSEI）にて、再協定締結の様子



締結後、研究所敷地内で記念撮影

- 令和7年12月2日に、フランス国立インクルーシブ教育高等研究所（INSEI）を訪問し、今後の研究協力について協議しました。日本とフランスのインクルーシブ教育の比較研究を進めるため、交流を促進する共有ワークスペースの設置に合意しました。次回は2026年4月にリモート会議を予定しています。



INSEIの正門にて



INSEIの担当研究員との意見交換、研究内容の協議の様子

メールマガジン、LINE、X（旧Twitter）、Instagram、HPのご案内

メールマガジン

毎月ご案内。

【主な内容】

- ・ 特総研からのお知らせ
- ・ 特総研に関するトピックス記事
- ・ 研究成果、海外情報の紹介
- ・ 特別支援教育関連情報



LINE

毎月2～3回ご案内。

【主な内容】

- ・ 特総研からのお知らせ



X（旧Twitter）

随時ご案内。

【主な内容】

- ・ 特総研からのお知らせ



Instagram



特総研（NISE）ホームページのQRコードはこちら



ご案内

令和7年度 国立特別支援教育総合研究所セミナー 共生社会の形成に向けた 特別支援教育の展開

日時

令和8年

2月28日 土

9:30~16:15

※会場受付 9時開始
配信接続 9時30分開始

定員

会場

500名（※先着申込順）

YouTubeライブ配信

（第1部のみ・定員なし）
※裏面参照

参加費

無料

申込期間

1/7（水）～2/13（金）

お申込みは研究所HP
またはQRコードから
※情報保障あり



会場

国立オリンピック記念
青少年総合センター

東京都渋谷区代々木神園町3-1

【アクセス】 貝

小田急線 参宮橋駅 徒歩7分

地下鉄千代田線 代々木公園駅 徒歩10分

主催：独立行政法人国立特別支援教育総合研究所

協力：株式会社伊藤園 公益財団法人みずほ教育福祉財団（五十音順）

参加について

申込方法 オンラインによる申込み

本研究所セミナーのホームページまたはQRコードよりお申込みください。（表面記載）

※手話通訳、字幕、車椅子等の配慮を必要とする場合は、その旨ご記入ください。

※オンラインによる申込みが困難な方は、FAXによる申込みを受け付けます。

※会場は定員に達し次第、申込期間内であっても申込みを締め切らせていただきます。

※YouTubeライブ配信に定員はありませんが、申込みが必要です。

個人情報の取扱いについて

本申込みでお預かりする個人情報は、独立行政法人国立特別支援教育総合研究所及び、運営を委託する業者が管理し、本セミナーでの利用以外では使用いたしません。

注意事項

△本セミナーの撮影・録音・スクリーンショット等をご遠慮ください。

△本研究所職員が会場及びオンラインにて撮影した**写真及び映像**は、広報資料に使用し**公表する**場合がございますので、あらかじめご了承ください。

△**宿泊、当日の昼食は各自でご用意ください。**大ホール及び小ホール内での飲食は不可ですが、カルチャー棟ホワイエ及び棟内では飲食が可能です。

タイムスケジュール

9:00 受付

第Ⅰ部

9:30 辻村賞授賞式

9:45 開会式

10:00 文部科学省行政説明

10:30 休憩

10:40 特総研の研究について

11:00 重点課題研究等成果報告

3研究課題

12:00 昼食休憩

12:50 重点課題研究等成果報告

2研究課題

第Ⅱ部

13:30 障害種別研究班等

ポスター発表

14:10 休憩

14:30 重点課題研究等分科会

16:00 各会場にて閉会

開催にあたり

ナイセ

国立特別支援教育総合研究所（NISE）では、研究成果等の普及や特別支援教育の理解啓発等を図り、インクルーシブ教育システムの構築の推進を目的として、毎年、本セミナーを開催しています。

今年度は本研究所の第5期中期計画の最終年度にあたります。文部科学省による行政説明のほか、研究所として特別支援教育に関する国の施策推進や学校現場の喫緊の課題解決に寄与するために取り組んできた障害種の枠を超えた重点課題研究、障害種別研究等の成果を報告させていただきます。特別支援教育に関する現状や課題を皆様と共有し、今後の更なる取組に向けて共に考える機会になればと考えております。

本セミナーが、各地域・学校における取組を一層推進するための一助となることを期待しています。

理事長 中村信一

問い合わせ先



独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 総務部 総務企画課 研究推進係

〒239-8585 神奈川県横須賀市野比5-1-1

TEL 046-839-6928 FAX 046-839-6919 e-mail : v-seminarwg2025@nise.go.jp

国立特別支援教育総合研究所

令和7年度 言語班セミナー

日時：令和8年3月7日（土）14:00～16:30

方法：対面（国立特別支援教育総合研究所 大研修室）
オンライン配信 ※当日配信のみ

定員：対面80名(先着順)/ オンライン300名(先着順)

講演「なぜ新発達論か」

鯨岡峻氏

本セミナーでは、鯨岡峻先生をお招きし、生涯発達論を「〈育てられる者〉から〈育てる者〉へ」と連続的にとらえる新発達論（関係発達論）の視座から、ことばの教室における〈子ども—教師—保護者〉の相互関係を捉え直します。あわせて、その視点を日々の支援に生かすための具体的な関わり方や連携の工夫へと結びつけることを目的とします。皆様のご参加をお待ちしております。

〈申込方法〉

ここをクリックすると申し込みページに移動します▶



お問い合わせ

独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 言語障害教育研究班

✉ v-gengo-seminar@nise.go.jp